

1. 事務局

豊島修練会は、財団法人から公益財団法人に移行して 13 年を経過した。公益財団法人として大事にしていることは、本法人を構成している一人一人が設立目的を十分に認識し、法人自治と自己責任経営を軸に公益目的事業を推進し、その目的の実現を図っていくことである。

今後も法人自治と自己責任経営を軸に公益目的事業を推進し、この法人の目的の実現を図っていくために、引き続き次の諸点に力を入れていく。

まずは、事務局のメンバーが公益目的事業の具現化に各人の能力を発揮し、協力し合い、評議員会ならびに理事会と連携していく。

次に、評議員・理事・監事及び評議員会・理事会がそれぞれ独自の機能を発揮しつつ連携して、ガバナンス（機関運営）をより確固たるものとする。そして、法令や本法人の定款、規則・規程に基づいたコンプライアンス(法令遵守・規範遵守)を保ちつつ、日々堅実に実践していくことが重要である。

これらのことを通して、一館二荘の施設・設備に必要な補修を施すなど、適正な管理・運営を進め、本法人の趣旨の周知と利用者の拡大を図っていく。

事務局が令和 6 年度に推進した主な事柄は、次の通りである。

- (1) 令和 5 年度における豊島修練会の業務、各会計の処理、財産の運用などについての監査を令和 6 年 5 月 12 日（日）に実施した。
- (2) 第 25 回定時理事会が令和 6 年 5 月 25 日（土）に実施され、議題として令和 5 年度の事業報告及び決算の承認、第 13 回定時評議員会の日時・場所・目的である事項の決定などが取り上げられた。
- (3) 第 13 回定時評議員会が令和 6 年 6 月 9 日（日）に実施され、この会の目的である事項として、令和 5 年度の事業の報告、決算の承認等の決定が行われた。
- (4) 令和 5 年度事業報告及び決算にかかわる書類などを令和 6 年 6 月 27 日（木）付で内閣府に電子提出した。
- (5) 第 26 回定時理事会を令和 7 年 3 月 1 日（土）に実施し、職務報告の後、議事としては、令和 7 年度事業計画案、収支予算案、資金調達書及び設備投資の見込みに伴う基本財産の一部処分などが取り上げられた。
- (6) 第 14 回臨時評議員会を令和 7 年 3 月 20 日（木）に実施し、職務報告、令和 7 年度の事業計画、収支予算などの報告があり、議事としては、資金調達書及び設備投資の見込みに伴う基本財産の一部処分などが取り上げられた。
- (7) 令和 7 年度の事業計画書、収支予算書、資金調達 及び設備投資の見込みを記した書類、第 26 回定時理事会の議事録、第 14 回臨時評議員会議事録などを令和 7 年 3 月 25 日（火）付で内閣府に電子提出した。
- (8) 本法人の経理的基盤の安定化のために、利用者の増大に努めるとともに、的確に無駄のない経費の節減を進めた。
- (9) 公益目的事業を円滑に展開していくために、職員同士はもとより職員と利用者等との間における適時適切な報告・連絡・相談の実践に努めた。
- (10) 不特定多数の方々への広報活動として、広報誌「かけはし」の発行の他、

「利用案内のしおり」「ちらし」などを作成配布し、本法人が行っている事業について広く PR に努めた。

2. 成美教育文化会館を活用した事業（公益目的事業1）

会館は、地域社会における不特定多数の人の教育・文化・福祉の向上及び地域社会の健全な発展に寄与することを目的とした公益目的事業を行った。

（1）貸室事業の推進

全体の平均稼働率は 42.2% で、近年になく高いものとなった。（次ページの表参照）。特に、音楽室、研修室、和室、茶室の利用が大幅に増えた。

（2）各種活動への支援

ホールやギャラリースペース、研修室などでの活動の内容をホームページで紹介したり、リーフレットとして配布したりして、いっどのような内容のものを実施しているかを不特定多数の人々に知らせるようにした。

- ①文化・芸術の振興を目的とする活動（講演会、音楽会、絵画展、写真展、その他の文化的発表会など）
- ②福祉の増進を目的とする活動（懇談会、研修会、健康診断など）
- ③健全な発達・育成を目的とする活動（ダンス、日本舞踊、茶道、体操、音楽会、発表会、料理教室など）
- ④人間性の涵養を目的とした活動（絵画、彫刻、俳句、短歌、水墨画、合唱、囲碁・将棋、書道など）

（3）主催・共催事業の開催推進

○映画会

例年通り、年4回の映画会を開催することができた。作品の用意、ちらしの作成、当日受付などを稲門会が、会場や機器の準備などを会館が行い、共催で無料映画会を実施した。

- 【第1回】令和6年5月30日（木）午後2時～4時「サウンドオブミュージック」 約300名
- 【第2回】令和6年9月26日（木）午後2時～4時「アラバマ物語」 約250名
- 【第3回】令和6年11月28日（木）午後2時～4時「哀愁」 約300名
- 【第4回】令和7年2月27日（木）午後2時～4時「アパートの鍵貸します」 約300名

令和6年度 貸室事業の推進

部屋		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	総計	昨年度
ホール	前		8	7	7	11	12	9	8	10	11	6	8	12	109	387	360
	後		11	12	11	17	15	14	15	13	12	13	11	15	159		
	夜		9	6	9	13	7	12	11	11	8	12	9	12	119		
ギャラリー	前		18	17	21	20	18	19	20	20	17	16	16	16	218	588	612
	後		19	17	22	17	13	19	20	20	18	18	15	19	217		
	夜		13	12	14	13	10	13	15	13	9	16	12	13	153		
会議室	前		4	2	3	4	1	1	2	1	1	2	1	8	30	73	72
	後		3	2	3	3	0	2	3	6	2	6	2	5	37		
	夜		0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	1	1	6		
調理室	前		8	7	9	8	5	9	7	9	7	8	7	6	90	122	145
	後		1	4	1	4	4	2	3	3	2	3	2	2	31		
	夜		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1		
美術 工芸室	前		3	4	4	5	5	6	6	4	4	3	4	6	54	151	109
	後		4	5	9	10	4	8	13	9	7	6	7	11	93		
	夜		0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	4		
音楽室1	前		14	10	10	10	9	14	14	15	6	10	14	15	141	441	473
	後		18	13	16	16	11	16	17	18	16	15	14	21	191		
	夜		11	10	10	11	8	11	11	10	7	6	8	6	109		
音楽室2	前		15	17	18	16	16	18	20	16	14	16	19	20	205	593	494
	後		16	18	17	17	14	17	21	18	16	14	17	22	207		
	夜		16	12	20	17	15	13	18	15	15	11	14	15	181		
大研修室	前		8	10	17	19	7	10	11	17	15	16	13	14	157	333	320
	後		11	10	13	14	7	11	12	18	14	11	12	10	143		
	夜		2	2	2	1	0	5	3	5	4	4	4	1	33		
研修室1	前		11	9	12	10	9	16	9	14	15	16	13	21	155	476	394
	後		17	14	15	15	9	16	18	15	16	20	12	23	190		
	夜		10	9	7	8	8	9	12	13	11	15	10	19	131		
研修室2	前		7	10	10	8	10	10	9	11	10	13	13	18	129	289	289
	後		10	10	11	11	4	12	15	10	9	12	13	17	134		
	夜		1	1	0	0	1	1	6	4	5	1	3	3	26		
和室いずみ	前		9	13	17	9	14	15	15	14	7	13	6	15	147	343	281
	後		11	15	14	9	7	10	13	12	10	10	11	15	137		
	夜		4	8	4	3	1	3	5	8	3	7	5	8	59		
茶室はぎ	前		10	7	9	9	11	10	11	13	12	12	11	9	124	345	221
	後		3	8	8	8	8	7	18	15	15	14	14	19	137		
	夜		2	2	2	1	1	4	12	12	12	12	11	13	84		
プレイルーム	前		11	10	16	19	13	13	13	16	12	15	17	11	166	323	360
	後		6	5	4	16	8	8	9	7	10	10	7	9	99		
	夜		4	3	4	13	5	4	7	3	3	5	4	3	58		
計			328	321	369	386	290	368	427	419	355	387	360	454	4464		
利用枠			889	849	920	925	864	886	954	920	817	777	850	926	10577		
稼働率(%)			37	38	40	42	34	42	45	46	43	50	42	49	42.20%		38.9

(4) 事業のための基礎の充実

① 経理的基礎

- ・ 各月の経理状況を比較・検討し、複数の担当者（経理担当理事、吉田税務会計事務所税理士）がかかわり、財務基盤の明確化と経理処理の適正化を図った。
- ・ 安全性を確保(施設・設備の計画的改修・修繕)するために、必要な予算を計上し計画的に執行した。
- ・ 諸経費を計り、算出を見通すとともに、定款に定められた必要な経理情報を、ホームページを通して開示した。

② 技術的能力

- ・ 貸室事業については、受付事務を当会館窓口に一本化することにより、受付の重複がないようにするとともに、ホール、ギャラリースペースについては、1年前、その他の部屋については6か月前から受付を行い、計画的な利用ができるようにした。また、ホームページに掲載している空き室状況を毎日更新し、利用者の便宜をはかり、利用率の向上に努めた。
- ・ 利用者が多い金・土・日については、戸田ビルパートナーズに依頼して、技術員を常駐させるとともに、他の曜日についても、必要に応じて勤務日の振替えを活用するなどして技術員をおくことにより、利用者が安心して当会館を利用できるようにした。
- ・ 年間を通して計画的に安全点検や施設の維持管理を行うとともに、修理、補充、更新を計画的に行い、安全で機能的な施設を利用できるようにした。また、年間を通して計画的に美化・清掃に努めるとともに、毎日の定期的な清掃と、使用後の清掃の励行に努め、安全で清潔な施設を貸与できるようにした。
- ・ 安全・安心・快適・節約にかかわり以下の事業を実施した。改築後25年以上を経過して、多岐に渡って修理・更新する必要がでてきている。

- 【修繕・更新】 ○エレベーター機能維持工事
○エレベーター内装工事
○ホール入口、ギャラリー等扉修理
○3F 大研修室音響設備更新工事
○2F 美術・工芸室ロールカーテン設置工事
○2F 美術・工芸室 LED 化工事

他

- 【節電の実施】 ◆廊下の電灯を一部消灯(活動に支障のでない程度)
◆洗面室の常時温水供給を停止
◆冷房の28度徹底の呼びかけ

- 【感染対策の実施】 ◆アルコール消毒、体温測定の実施

3. 臨海学寮・林間学寮を活用した事業（公益目的事業2）

(1) 宿泊施設の貸室事業の推進

新型コロナウイルス感染の状況は落ち着くも、他のウィルス感染が広がる懸念は払拭できず、予防に十分配慮しつつ通常通りの貸室事業を継続している。

利用者の内訳については、近年、新規の団体の問い合わせ・利用が目立つ。一字荘は小学校1校、高校（部活動）2校、スポーツ2団体、15家族、至楽荘は小学校5校（内4校は、東久留米市立小学校特別支援学級）、中学校1校、高校（部活動）2校、スポーツ・文化5団体、38家族が利用した。利用合計は、小金井市立小学校の至楽荘の利用がなくなり、延べ3288人と大きく減少した。

(平成24年度～令和6年度の貸室の状況)

学 寮		利用者数	延べ人数	二荘利用者の 延べ人数の合計	
臨海学寮 (至楽荘)	平成24年度	2149人	4891人		
	平成25年度	2163人	5303人	H24	7105人
	平成26年度	2500人	5458人	H25	7434人
	平成27年度	2348人	5439人	H26	7428人
	平成28年度	2094人	5452人	H27	7017人
	平成29年度	2034人	5477人	H28	7065人
	平成30年度	2254人	5321人	H29	7050人
	令和元年度	2075人	4986人	H30	7147人
	令和2年度	54人	68人	R1	6618人
	令和3年度	234人	409人	R2	68人
	令和4年度	841人	3424人	R3	428人
	令和5年度	1299人	4133人	R4	4491人
	令和6年度	819人	1931人	R5	5573人
	林間学寮 (一字荘)	平成24年度	766人	2214人	R6
平成25年度		726人	2131人		
平成26年度		686人	1970人		
平成27年度		536人	1578人		
平成28年度		559人	1613人		
平成29年度		614人	1573人		
平成30年度		628人	1826人		
令和元年度		560人	1632人		
令和2年度		0人	0人		
令和3年度		13人	19人		
令和4年度		399人	1067人		
令和5年度		479人	1440人		
令和6年度		446人	1357人		

(2) 各種活動に対する支援（団体利用者・一般利用者、宿泊訓練・野外活動等）

学寮のある千葉県勝浦市や長野県茅野市には、担当者が出向き、地元関係機関との連携を図った。（団体の利用時には、活動状況を視察するために出向いた。）

(3) 主催・共催事業の推進

主催事業として、一字荘においては、新規に巣箱作り教室を開催、期間中に3家族が参加した。また、きのこ教室を復活し、満室になる盛況を呈した。

(4) 事業推進のための基礎の充実

① 経理的基礎

- ・ 公益目的事業2の運営に、寮費、賛助会員の入会金と年会費を当てた。本年度の賛助会員（会費納入者）は、上期610人・下期607人で当初予定していた会員数より減少した。
- ・ 共通会計より資金を繰り入れ、至楽荘においては高圧受電設備工事・本館エアコン設置、引当金を執行し、全建物の外壁塗装修繕工事を行った。
- ・ 経理処理は、豊島修練会事務局の経理担当理事・二荘担当理事と吉田税務会計事務所税理士が連携して担当し、複数体制で内容確認を行った。
- ・ 予算、決算ともに、開示対象として、ホームページにも公開している。

② 技術的能力

- ・ 貸室事業については、豊島修練会事務局の二荘担当理事が担当し、運営管理した。ホームページで空き室状況を表示し、メールでの予約ができるようにしている。
- ・ 学寮としての適切な管理にあたるため、管理人（至楽荘：栗原徳雄、一字荘：今井美富士）を配置している。
- ・ 経年劣化した箇所を修繕・更新した。

	定期的な設備管理	修繕・更新など
臨海学寮 (至楽荘)	◇ 消防設備保守点検 ◇ 貯水槽清掃・水質検査 ◇ 浄化槽保守点検、汚泥抜き ◇ 害虫駆除 ◇ 厨房内の清掃	・ 高圧受電設備設置工事(新規) ・ 本館エアコン設置工事(新規) ・ 外壁塗装修繕工事 ※ 雨水排水工事計画進行中 ※ 職員室エアコン更新計画進行中
林間学寮 (一字荘)	◇ 高架水槽清掃 ◇ 消防用設備保守点検	・ 外壁塗装修繕工事 ※ 給水ポンプ更新計画進行中 ※ フェンス土留め工事計画進行中

- ・ 非常用としてそれぞれの学寮に利用人数に応じた保存用ビスコを購入し、計画的に更新している。
- ・ 一字荘での活動の幅を広げるために購入した無線ルーターは、団体でのWi-fiを使った活動を可能にしている。



▲至楽荘 室内機(1階)



▲至楽荘 室内機(2階)



▲至楽荘 高圧受電設備(キュービクル)



▲至楽荘 外壁塗装修繕工事(洗浄中)



▲至楽荘 外壁塗装修繕工事(施工後)



▲至楽荘 崩落の懸念



▲至楽荘 地滑りの懸念



▲一字荘 外壁塗装修繕工事



▲一字荘 巣箱作り教室



▲一字荘 水廻り更新・修繕

4. 成美教育文化会館の一部の賃貸事業（収益目的事業1）

地域社会における不特定多数の人の教育、文化及び福祉の向上、及び地域社会の健全な発展に寄与することを目的とした公益目的事業活動を安定的に維持していくため、収益目的事業を行った。

（1）成美教育文化会館の一部を長期に渡って貸し出している団体や法人

- ①平日午前中のホールを、学校法人なでしこ学園に貸与し、なでしこ学園は体育的活動や行事等で使用している。
- ②4階東側部分を教育センターとして東京都東久留米市に貸与し、東久留米市は事務室、教育相談室、適応教室、教育相談などに使用している。
- ③1階受付横の小部屋を株式会社クルメディアに貸与し、クルメディアはFM局「TOKYO 854」のスタジオとして使用している。令和6年1月に3回目の賃貸借契約を更新した。
- ④5階西側部分を進学塾エッセンシャルアカデミーに貸与し、エッセンシャルアカデミーは小・中学生の進学塾教室として使用している。令和6年2月に3回目の賃貸借契約を更新した。
- ⑤4階西側部分を4 t u n e 株式会社に貸与し、4 t u n e は事務所として使用している。令和6年8月に3回目の賃貸借契約を更新した。
- ⑥5階東部分を日機装エイコー株式会社に貸与していたが、令和6年9月に解約となった。

（2）賃貸料の活用

成美教育文化会館の賃貸で得た料金は、会館の利用者一人一人が安全で有益な活動ができるようにするための、施設・設備などの維持・管理に活用した。

（3）今後の課題

貸与先の要望も取り入れながら、セキュリティ等のトラブルが起きないように、いろいろな対策をしていく。

◎正味財産増減計算書内訳書

公益財団法人 豊島修練会
自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月 31日

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 基本財産運用収入	(28,098,323)	(3,350,875)		(31,449,198)	(26,226,415)	(26,226,415)			(57,675,613)
各室利用収入	28,098,323			28,098,323	26,226,415	26,226,415			54,324,738
家賃収入		3,350,875		3,350,875					3,350,875
② 運用財産収入	(20,501)	(8,532)	(9,617,525)	(9,646,558)					(9,646,558)
受取利息	20,501	8,532	9,617,525	9,646,558					9,646,558
③ 会費収入		(7,305,000)		(7,305,000)			(6,000,000)		(13,305,000)
入会金・会費収入		7,305,000		7,305,000			6,000,000		13,305,000
④ 贈収益	(7,238,040)	(18,910)		(7,256,950)	(366,672)	(366,672)			(7,623,622)
雑収入	7,238,040	18,910		7,256,950	366,672	366,672			7,623,622
経常収益計	35,356,864	10,683,317	9,617,525	55,657,706	26,593,087	26,593,087	6,000,000	0	88,250,793
(2) 経常費用									
① 事業費	(78,011,877)	(48,992,652)	(1,540)	(127,006,069)	(39,503,237)	(39,503,237)			(166,509,306)
役員報酬	8,880,000			8,880,000					8,880,000
給料手当	2,889,481	3,977,967		6,867,448					6,867,448
福利厚生費	12,413			12,413					12,413
光熱水費	7,318,263	3,315,081		10,633,344	2,090,932	2,090,932			12,724,276
印刷製本費	52,311			52,311					52,311
消耗品費	2,621,508	737,280		3,358,788					3,358,788
賃借料	970,417	3,105,322		4,075,739					4,075,739
支払保険料	159,460	782,410		941,870	122,442	122,442			1,064,312
修繕費	3,389,716	12,983,194		16,372,910	225,060	225,060			16,597,970
租税公課	5,234,768			5,234,768	4,019,554	4,019,554			9,254,322
渉外費		127,720		127,720					127,720
旅費交通費	348,624	157,033		505,657					505,657
通信運搬費	382,465	279,096		661,561					661,561
減価償却費	31,495,289	21,345,914		52,841,203	24,181,396	24,181,396			77,022,599
委託報酬料	2,431,461			2,431,461					2,431,461
会議費	1,698			1,698					1,698
設備管理費	7,548,252	1,922,400		9,470,652	5,795,979	5,795,979			15,266,631
清掃管理費	3,580,187			3,580,187	2,749,072	2,749,072			6,329,259
警備管理費	415,184			415,184	318,802	318,802			733,986
衛生費		8,770		8,770					8,770
廃棄物収集費	180,615	233,315		413,930					413,930
雑費	99,765	17,150	1,540	118,455					118,455
予備費									
② 管理費							(7,078,312)		(7,078,312)
役員報酬							3,240,000		3,240,000
福利厚生費							1,550		1,550
光熱水費							1,045,467		1,045,467
印刷製本費							5,813		5,813
消耗品費							327,321		327,321
賃借料							107,825		107,825
支払保険料							2,848		2,848
修繕費									0
租税公課							93,478		93,478
渉外費							129,000		129,000
旅費交通費							232,416		232,416
通信運搬費							42,497		42,497
減価償却費							584,025		584,025
委託報酬料							1,042,056		1,042,056
会議費							6,792		6,792
設備管理費							134,792		134,792
清掃管理費							63,933		63,933
警備管理費							7,414		7,414
衛生費									0
廃棄物収集費									0
雑費							11,085		11,085
予備費									0
経常費用計	78,011,877	48,992,652	1,540	127,006,069	39,503,237	39,503,237	7,078,312	0	173,587,618
当期経常増減額	-42,655,013	-38,309,335	9,615,985	-71,348,363	-12,910,150	-12,910,150	-1,078,312	0	-85,336,825
II 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
法人税・住民税及び事業税							70,000		70,000
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	70,000	0	70,000
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	-70,000	0	-70,000
他会計振替額	13,898,466	31,400,000	-45,400,000	-101,534		0	101,534		0
一般正味財産期首残高	1,695,517,500	152,941,856	-106,548,240	1,741,911,116	611,481,373	611,481,373	12,344,800		2,365,737,289
一般正味財産期末残高	1,666,760,953	146,032,521	-142,332,255	1,670,461,219	598,571,223	598,571,223	11,298,022	0	2,280,330,464
II 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額									0
指定正味財産期首残高									0
指定正味財産期末残高									0
III 正味財産期末残高	1,666,760,953	146,032,521	-142,332,255	1,670,461,219	598,571,223	598,571,223	11,298,022	0	2,280,330,464